



キーワードを入力



トップ

速報

ライブ

個人

オリジナル

みんなの意見

ランキング

有

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

研究不正認定の元職員ら処分 国立循環器病研究センター

3/30(火) 19:30 配信 4  朝日新聞
DIGITAL

国立循環器病研究センター=大阪府吹田市

国立循環器病研究センター（国循）は30日、1月に論文2本の研究不正を認定した元職員らの処分を発表した。不正を認定した元室長を懲戒解雇相当、不正にはかかわっていないが責任があるとした元所長を停職1カ月相当、不正にはあたらないが過失があると認定した職員2人を文書による厳重注意とした。元室長は退職しており、国循は退職手当の返還を求めた。

国循が研究不正を認定した論文の一つは、2015年に米科学アカデミー紀要に発表された。肺がん手術の際に心臓病治療薬であるホルモン「hANP」を使うと、がんの転移や再発を防げるとの内容だった。この論文を根拠に、大阪大付属病院が肺がん患者を対象にした臨床研究を始めたが、不正が認定されて中止した。

国循の小川久雄理事長は「研究倫理に関するルールの遵守（じゅんしゅ）を徹底し、今後も引き続き再発防止に取り組む」と談話を発表した。

朝日新聞社

【関連記事】

不正論文もとに臨床研究、参加した患者に影響は？ 阪大「先進医療の中止も想定」 阪大の研究不正で国審査部会「医師が論文5本で捏造や改ざん」 阪大と国循が発表
コロナ論文撤回、相次ぐ 緊急時に揺らいだ科学への信頼
突然の調査に隠れたホテル従業員 でもバレた偽りの休業

最終更新: 3/30(火) 19:36

朝日新聞デジタル